

授業科目(ナンバリング)	中国語会話 (CA208)			担当教員	※楊 雯嬾		
展開方法	演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
中国語は中国だけでなく、シンガポールやマレーシアなどの国々でも幅広く使用されており、さらに近年中国のめざましい経済発展のため、アジアの世界だと言われている 21 世紀の現在、世界中に中国語の学習者が多くいる。中国語学習は大きな世界へ繋がるツールを手に入れることだと言えよう。本授業は「聞く・話す」に重点を置きながら、中国語の運用能力とコミュニケーション能力の向上を目指し、さらに基礎となる語彙・文法知識の学びにより、中国語の語学力を固めることも目標とする。							①②⑥ ⑦⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な中国語会話が聞き取ることができる。 ・自分の考えを簡単な中国語で伝えることができる。 ・新しい単語、文法を身につけることができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・課題レポート 	15% 10%
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。 ・様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。 ・多角度から情報を理解、分析、解釈することができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート 	10%
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に中国語でコミュニケーションに取り組むことができる。 ・中国語の言語能力などを駆使して、相手の意図を正しく理解し、 ・自説をうまく展開することができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・発表 	20%
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。 ・中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度・授業への参加度 ・発表 	15% 20%
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> ・言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。 ・非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート 	10%
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの成績を 15%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第 1 回目の授業を除く) ・課題レポートの成績を 30%とし、情報収集分析力と言語運用能力を鍛えるために設置し、宿題として出す。(2 回) ・発表の成績を 40%とし、発表の内容と討論への参加度合で評価する。(4 回:第 8、15、22、30 回目) ・授業態度及び授業への参加度の成績を 15%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。 ・小テスト、課題レポートのフィードバックは、随時授業の中で行う。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・資料：教科書を基本資料とし、パワーポイント(プリントの時もある)を補助資料として授業を行う。 ・進め方：「復習>新出単語・本文>文法解説>ワードバンク>ドリル>答疑」の流れに従う。(変わる時もある) ・目標：日常の学生生活で応用できる中国語を使い、「しゃべる」楽しさを多く体験することができる。 ・この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分である。 							
教科書・参考書							
教科書：陳淑梅・劉光赤(2013).『しゃべっていいとも中国語 2・ステップアップ編』朝日出版社. 参考書：池田磨左文・于耀明・傍島史奈・山本透江(2013).『みんなの中国語 [会話編]』白帝社. 指定図書：陳淑梅・劉光赤(2013).『しゃべっていいとも中国語 2・ステップアップ編』朝日出版社.							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習をすること(毎回授業後の復習をしっかりすれば、言語学習は楽になる)。 ・毎回の授業、必ず教科書と好奇心を持って積極的ご参加ください。 ・教科書以外の資料も活用すること(例:教科書の CD、参考書、辞書、歌、NHK テレビ・ラジオ番組 など)。 ・毎日 10 分間でも中国語を大きい声で読んでください。(教科書の会話例を暗記するのは望ましい) 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス(前期)	①基本的な発音の復習 ②シラバス(前期)の説明	予習: シラバスの確認; 復習: ピンイン、声調
2	第1課「你也是留学生吗？」(1)	①副詞「也」と「都」 ②二重目的語をとる動詞	予習: 教科書 pp. 2~4; 復習: ピンイン、声調
3	第1課「你也是留学生吗？」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 2~4, CD2~4
4	第2課「打工」(1)	①前置詞「在」 ②動詞「喜歡」	予習: 教科書 pp. 8~10; 復習: pp. 5~7, CD5~6
5	第2課「打工」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 8~10, CD7~9
6	第3課「在饭店」(1)	①経験を表す「過」 ②選択疑問文	予習: 教科書 pp. 14~16; 復習: pp. 11~13, CD10~11
7	第3課「在饭店」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 14~16, CD12~14
8	発表	会話(グループ)	予習: 発表の準備 ☆課題レポート
9	第4課「去唱卡拉OK」	①助動詞「得」 ②構文「一~就~」	予習: 教科書 pp. 20~25; 復習: pp. 17~19, CD15~16
10	第5課「你唱得真好」(1)	①結果補語 ②様態補語	予習: 教科書 pp. 26~28; 復習: pp. 20~25, CD17~21
11	第5課「你唱得真好」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 26~28, CD22~24
12	第6課「全家照」(1)	①構文「是~的」 ②比較表現 前置詞「比」	予習: 教科書 pp. 32~34; 復習: pp. 29~31, CD25~26
13	第6課「全家照」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 32~34, CD27~29
14	第7課「买衬衫」	①方向補語(単純方向補語) ②「有点儿」と「一点儿」	予習: 教科書 pp. 38~43; 復習: pp. 35~37, CD30~31
15	前期発表会	①前期のまとめ ②プレゼンテーション(グループ)	予習: 発表の準備; 復習: pp. 38~43, CD32~36
16	ガイダンス(後期)	①前期内容の復習 ②シラバス(後期)の説明	予習: シラバスの確認; 復習: 前期の内容
17	第8課「生日晚会」(1)	①構文「把」 ②方向補語(複合方向補語)	予習: 教科書 pp. 44~46; 復習: 前期の内容
18	第8課「生日晚会」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 44~46, CD37~39
19	第9課「看DVD」(1)	①程度補語 ②可能補語	予習: 教科書 pp. 50~52; 復習: pp. 47~49, CD40~41
20	第9課「看DVD」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 50~52, CD42~44
21	第10課「放暑假」	①「多」+形容詞 ②不定疑問文	予習: 教科書 pp. 56~61; 復習: pp. 53~55, CD45~46
22	発表	会話(グループ)	予習: 発表の準備 ☆課題レポート
23	第11課「学园节」	①前置詞「离」 ②動詞+「着」	予習: 教科書 pp. 62~67; 復習: pp. 56~61, CD47~51
24	第12課「滑雪」	①存現文 ②禁止を表す「不要」・「别」	予習: 教科書 pp. 68~73; 復習: pp. 62~67, CD52~56
25	第13課「看病」(1)	①主述述語文 ②受け身表現	予習: 教科書 pp. 74~76; 復習: pp. 68~73, CD57~61
26	第13課「看病」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 74~76, CD62~64
27	第14課「回国之前」(1)	①「就要~了」 ②使役表現	予習: 教科書 pp. 80~82; 復習: pp. 77~79, CD65~66
28	第14課「回国之前」(2)	ワードバンク・ドリル	復習: pp. 80~82, CD67~69
29	まとめ	前期・後期の文法ポイント	復習: pp. 83~85, CD70~71
30	後期発表会	プレゼンテーション(グループ)	予習: 発表の準備; 復習: 後期の内容